

ジョイフル神足地域連携推進会議報告書

報告者：社会福祉法人向陵会

ジョイフル神足

管理者 河原絵理

1. 日時：令和7年9月22日（月）13：00～14：50
2. 場所：ジョイフル神足
3. 出席者： 神足区自治会 会長様
長岡京市障がい福祉課 課長補様
乙訓障がい者基幹センター 課長様
ご家族代表者様
利用者代表者様
乙訓ひまわり園生活介護利用者代表者様担当者様
ジョイフル神足 管理者 河原
ジョイフル神足 サービス管理責任者 中村
4. 内容：地域連携推進会議及び施設見学
 - ①開会挨拶
 - ②出席者紹介
 - ③地域連携推進会議
 - 議事 施設紹介
 - 利用者紹介
 - 障がいについて
 - 利用者の日常生活の様子について
 - 経営について
 - 支援者について
 - 会議やイベントなど
 - 感染症対策やBCPについて
 - 利用者の権利擁護について
 - ④施設見学
 - ⑤意見交換
 - ⑥閉会
5. ご意見・ご要望
 - ご質問：短期入所の定員に空きがあるとのことだが、利用希望者の紹介は可能か。
 - 回答：入居者の生活の安定が最優先だが、条件が合えば利用は可能。
 - ご感想：アットホームな雰囲気、暮らしとの連携を学ばせてもらった。

ご質問： 短期利用者の利用スパンはどのくらいか。

回答： 将来を見据えて年間で計画を立て、毎月定期的に利用する方が多い。

空きがあれば緊急の受け入れも可能。

ご意見： 地域連携への注力が理解できた。今回の機会を通じて、近隣の事業所の運営形態や入居者について知ることができた。地震や火災などの災害時に、近隣住民としてどの程度の対応が必要か情報共有を進める必要がある。市の公式避難 LINE の活用や、行政からの働きかけも期待したい。

ご意見： 地域の方々にホームを知っていただく良い機会となった。

親として将来に不安があるため、地域の方々に見守っていただけることは大変有り難い。本人が周りに支えられながら生活していくことが親の願いである。

6. まとめ

この度、第 1 回地域連携推進会議を無事開催いたしました。ジョイフル神足は、夕方から朝までのサービス提供を主とする事業形態のため、ご利用者様を含めた地域の方々との日常的な交流が難しい側面があります。しかし、本会議を継続的に開催することで、地域の方々と「顔の見える関係」を構築し、ご利用者様、職員双方が安心して過ごせる施設づくりを続けていくための大きな一歩を踏み出す機会となりました。本会議では、地域が抱える課題について共通認識を持つことができ、特に災害時対応に関しては、今後具体的な協議の機会を持つ必要性が確認されました。今後は、施設側からも「災害時に何に困るのか」「何が必要となるのか」といった具体的な情報をリストアップし、地域の皆様に明確に共有してまいります。又、施設見学を実施するにあたり、浴室、トイレ、居室といった生活空間が、「暮らしの場」として整備されていても、管理上の制約から「施設」特有の雰囲気を感じさせてしまうのではないかと、という懸念がありました。しかし、見学時に各種介護用品の具体的な使用方法や導入背景を丁寧に説明することで、単なる設備紹介に留まらず、障がいのある方々の実際の暮らしや生活の工夫を、参加者の皆様により具体的に、身近なものとして感じていただくことができたと考えております。

構成員の皆様からの温かいお言葉に深く感謝申し上げます。地域に守られている施設であることを強く感じる機会となりました。この連携を大切に、今後も地域と共に、自分らしい暮らし、共生に向けて努めてまいります。

以上